

人間文化研究機構 第25回公開講演会・シンポジウム

グローバル・インドのいま

現代インドは、近年の飛躍的な経済成長や民主主義の深化が進む一方で、格差問題や環境問題などさまざまな課題に直面しています。またインドはアジアと世界において影響力を強めつつあり、グローバルな視点から現代インドの変容の意味を捉える必要があります。

本講演会は、人間文化研究機構「現代インド地域研究」事業の5年間にわたる研究成果をもとに、こうしたインドの現状とその世界的な位置づけを総合的に把握し、長期的視野に立った将来的展望を示します。講演では、インドにおける経済および政治の現代変容について論じ、座談会においては、現代インドのゆくえがアジアと世界にとっていかなる意味を持つのかについて、イスラム世界・中国・東南アジアとの比較の視点から論じます。

2014.11.2(日)
13:00-17:00

定員500名
参加費無料
事前申込不要

百周年時計台記念館百周年記念ホール
京都大学メインキャンパス内 京都市左京区吉田本町



Program 2014.11.2

- 13:00 開会の辞
今西祐一郎(人間文化研究機構理事)
- 13:00-13:05 主催者挨拶
立本成文(人間文化研究機構長)
- 13:05-13:15 現代インド地域研究総括責任者挨拶
田辺明生(京都大学教授)

第1部【講演】

- 13:15-14:05 「躍動する経済、変貌する社会」
藤田幸一(京都大学教授)
- 14:05-14:55 「グローバル化する民主政治、大国志向の外交」
堀本武功(京都大学特任教授)
- 14:55-15:10 休憩

第2部【座談会】

- 15:10-16:50 「グローバル・インドのゆくえ—イスラーム世界・中国・東南アジアとの比較から」
司会: 押川文字(京都大学教授)
天児慧(早稲田大学教授)
桜井啓子(早稲田大学教授)
佐藤百合(アジア経済研究所上席主任調査研究員)
杉原薫(政策研究大学院大学特別教授)
藤田幸一・堀本武功
- 16:50-16:55 主催機関挨拶
小長谷有紀(人間文化研究機構理事・地域研究推進センター長)
- 16:55 閉会の辞
今西祐一郎(人間文化研究機構理事)

Access



【公共交通機関】

地下鉄「烏丸今出川」駅から
市バス
201系統「京大正門前」にて下車

京阪「出町柳」駅から
徒歩東へ約20分

阪急「河原町」駅から
市バス
201・31系統「京大正門前」にて下車

Profiles

藤田幸一 【ふじた こういち】
京都大学東南アジア研究所教授。専門は農業経済学、地域研究。著書に『バングラデシュ 農村開発のなかの階層変動—貧困削減のための基礎研究』(京都大学学術出版会2005年)、『ミャンマー移行経済の変容—市場と統制のはざままで』(編著、アジア経済研究所、2005年)、『歴史のなかの熱帯生存圏—温帯パラダイムを超えて』(共編著、京都大学学術出版会、2012年)など。

堀本武功 【ほりもと たけのり】
京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科特任教授。専門は国際政治(アジア)。著書に『インド—グローバル化する巨像』(岩波書店、2007年)、『軍事大国化するインド』(共著、亜紀書房、2010年)、シリーズ『現代インド3 深化するデモクラシー』(共編著、東京大学出版会、2014年近刊)など。

押川文字 【おしかわ ふみこ】
京都大学地域研究統合情報センター教授。専門はインド近代社会史。著書に『フィールドからの現状報告<叢書カースト制度と被差別民>』(編著、明石書店、1995年)、『南アジアの社会変容と女性』(編著、アジア経済研究所、1997年)など。

天児慧 【あまこ さとし】
早稲田大学アジア太平洋研究科教授。NIHUプログラム「現代中国地域研究」総括代表。専門は現代中国論、アジア国際関係論。著書に『中華人民共和国史 新版』(岩波新書2013年)、『日中対立—習近平の中国を読む』(ちくま新書2013年)、『日中「歴史の変わり目」を展望する—日中間関係再考』(勁草書房、2013年)など。

桜井啓子 【さくらい けいこ】
早稲田大学国際教養学部教授。NIHUプログラム「イスラーム地域研究」研究代表者。専門はイラン地域研究、比較社会学。著書に『現代イラン—神の国の変貌』(岩波新書2001年)、『日本のムスリム社会』(ちくま新書、2003年)、『シーア派—台頭するイスラーム少数派』(中公新書、2006年)、『イランの宗教教育戦略—グローバル化と留学生』(山川出版社、2014年)など。

佐藤百合 【さとう ゆり】
アジア経済研究所上席主任調査研究員。専門はインドネシア地域研究。著書に『インドネシアの経済再編—構造・制度・アクター』(アジア経済研究所、2004年)、『アジアの二輪車産業—地場産業の勃興と産業メカニズム』(共編著、アジア経済研究所、2006年)、『経済大国インドネシア—21世紀の成長条件』(中公新書、2011年)など。

杉原薫 【すぎはら かおる】
政策研究大学院大学特別教授。専門はアジア経済史。著書に『アジア間貿易の形成と構造』(ミネルヴァ書房、1996年)、『アジア太平洋経済圏の興隆』(大阪大学出版会、2003年)、『歴史のなかの熱帯生存圏—温帯パラダイムを超えて』(共編著、京都大学学術出版会、2012年)。シリーズ『現代インド1 多様性社会の挑戦』(共編著、東京大学出版会、2014年近刊)など。

田辺明生 【たなべ あきお】
京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科教授。NIHUプログラム『現代インド地域研究』総括責任者。専門は南アジアの歴史人類学。著書に『カーストと平等性』(東京大学出版会、2010年)、『南アジア社会を学ぶ人のために』(共編著、世界思想社、2010年)、シリーズ『現代インド1 多様性社会の挑戦』(共編著、東京大学出版会、2014年近刊)など。

